

今月のコラム

感染症予防について

訪問介護事業所みらい

八田 美加恵



今年も残すところひと月とちよつとなりました。コロナウイルス感染症も第3派と勢いが衰える気配が見られない中、インフルエンザに対しても備えないといけない状況です。感染予防として、3密(密接・密閉・密集)を防ぐ、うがいや手洗いをこまめに行う。公共施設やスーパーなどの出入り口付近には手指消毒が必ずと言っていいほど設置してあります。また、咳エチケット、くしゃみエチケットも周知されました。

訪問介護サービスは、ヘルパーがお客様のご自宅に訪問し、入浴や排せつ、調理や掃除等の支援を行います。少ない日でも1日3〜4件、多い日では8〜10件程度訪問します。その際に重要な事は

「私達自身が感染源になってはいけない。」「私達自身が、菌を持ち込まない、持ち出さない。」です。

なので、スタッフ雇用時の初期研修でスタンダードプリコーション(標準予防策)を学びます。訪問前後の「うがい・手洗い」の徹底。訪問先では、靴下を重ねて履き、退出する際には重ねた靴下を脱ぎ、準備したナイロン袋に入れ、口を縛る。自宅に戻って制服や使用したタオルなどを洗濯する際は他の衣類と一緒に洗濯しない等々。今はこれにマスク着用が加わりました。介助を行う際は、適度の距離を保ちたいのですが、そうはいかない時のほうが多いため、安心していただけるように心がけています。今までは大丈夫だったからこれからは大丈夫とは限りません。今後とも今まで以上に注意しながら、適切な援助と笑顔を届けていきたいと思います。

デイケアのご利用者様からコラムをいただきました。

島めぐり

山本 学



私は小さい頃から地図を見るのが好きだった。地図を見ながらここはどんな所だろうと、どんな人が住んでいるのだろうと想像するのが好きだった。そして、いつかは行ってみたい、日本中を旅行してみたいというのが私の夢になっていた。

退職して自由の身になった時、今こそ若き日の夢を実現しよう、でもただ旅行するのはつまらない、何か人と違った旅行をしてみたいと考えた。日本には小さい島が沢山ある。人が住んでいて郵便局のある孤島へ行って貯金通帳に行った証として百円貯金して来ようという計画はまとまった。早速本屋へ行き「日本島図鑑」を買って、最小限の荷物をリュックに詰め、足掛け六年にわたり計四二〇日間、本を片手に北は日本最北端の北海道礼文島、南は最南端の沖縄波照間島まで合計二一五の有人島を旅してきた。

旅行の醍醐味の一つは何といってもその土地の美味しい食べ物を食すること、北海道留萌沖天売島では目の前の海で獲ったばかりのウニをスプーンですくって堪能、週一便しかない定期船に乗って丸一日がかりで着いた小笠原父島母島(東京都)は、まるで異国に迷い込んだような亜熱帯植物が茂る島、紺碧の海と潮吹くザトウクジラに感動、煌めく満天の夜空を仰ぎ見ながら、のんびりした一週間は瞬間に過ぎていった。

昭和初期には機密保持のため地図から消されていた毒ガス製造のための大久野島(広島県)、今では一千羽の野生のウサギに囲まれる癒しの島となっている。「毒ガス資料館」見学してつくづく平和のありがたさを感じる島でもあった。
伝説と多くの史跡が残る硫黄島。海の色は青だと思っていたが、海底から湧く鉄分を含む温泉が海水と反応してここ硫黄島の港は真っ茶色。のっけからびっくりさせられた。流刑された僧都俊寛の史跡を巡り、疲れたら潮騒を聴きながらの波打ち際の露天風呂、本当に疲れが癒された。思い出は尽きない。現在の楽しみは、旅した場所がテレビで放映されると懐かしく家人に話すことである。

デイケア便り 12月号

運動の秋!



紅葉を見ながらお散歩



皆で楽しく風船バレー

片足立ち上手でしょう!



芸術の秋!



折り紙



何を作るのかな? 出来てからの楽しみ!



おやつタイム♡



お手伝い
ありがとう!



お誕生日おめでとう!

* 原稿締め切り上、一部のみ掲載させて頂きました。

